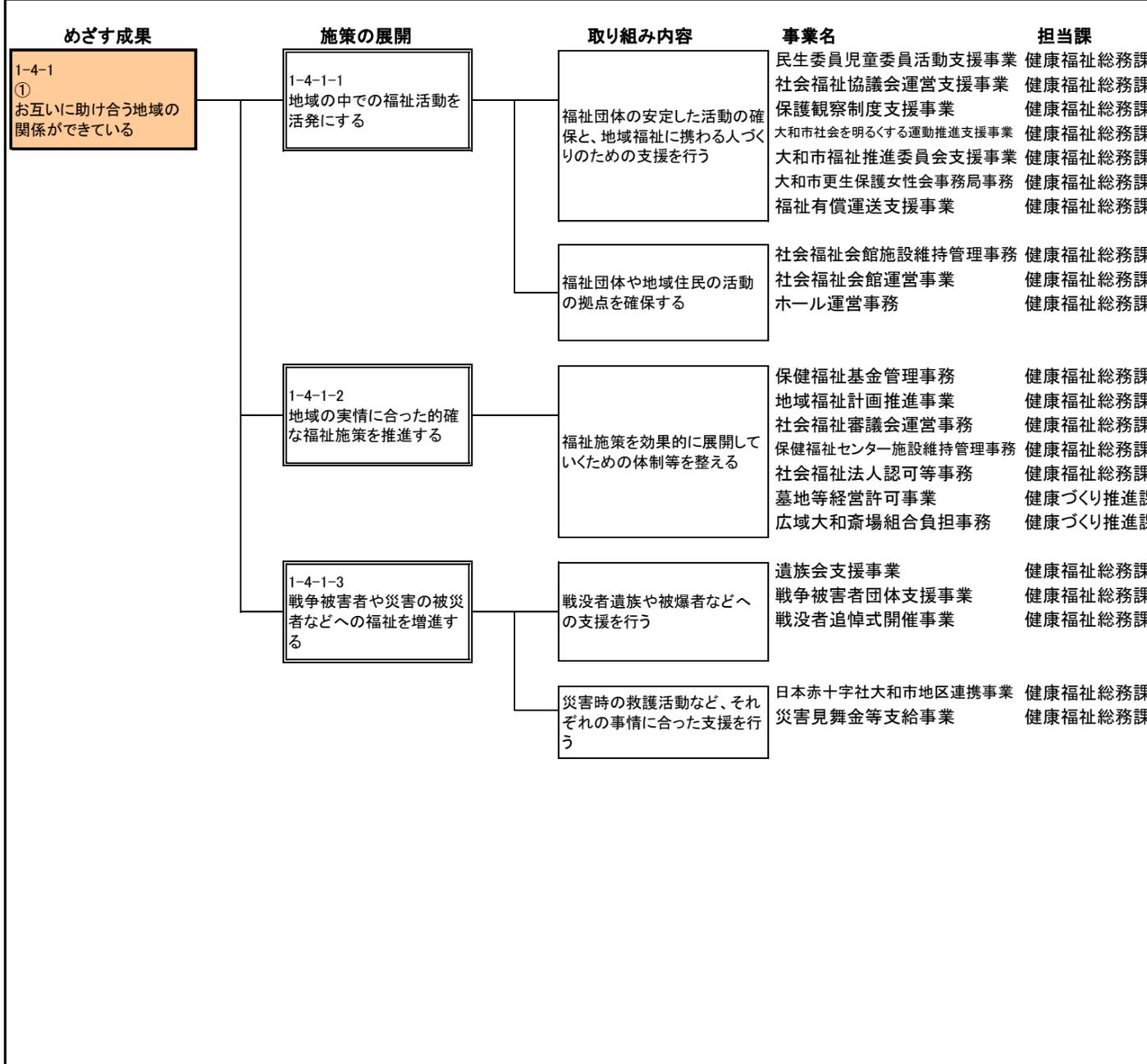


平成27年度「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート		
1-4-1 お互いに助け合う地域の関係ができています		
総合計画体系	健康領域・基本目標	人の健康・一人ひとりがいつまでも元気でいられるまち
	個別目標	助け合う福祉のしくみづくりを推進する
	めざす成果	お互いに助け合う地域の関係ができています。 日頃から、近隣の人たちのコミュニケーションがとれていて、困ったときにはお互いに助け合う関係ができています。

「めざす成果」を達成するための施策展開（ロジックツリー）



成果を計る 主な指標	指標の名称	前期基本計画			後期基本計画		
		計画策定時 (H20)	最終目標値 (H25)	実績値 (H25)	実績値 (H26)	中間目標値 (H28)	最終目標値 (H30)
① 地域に支え合う人のつながりがあると思う市民の割合		36.6%	43.0%	43.2%		44.0%	46.0%

所管部	健康福祉部
-----	-------

平成26年度の取り組み内容	<p>【地域の中での福祉活動を活発にする】</p> <ul style="list-style-type: none"> 民生委員児童委員協議会や福祉の心の啓発を目的とした福祉推進委員会に対して、補助金の交付や事務局としての人的支援を行い、自主的な活動を促進しました。 保健福祉センターホールを、福祉関連の講演会や講習、高齢の方や障がい者のスポーツ、その他一般市民の幅広い利用に供し、平成26年度は62,314人の利用がありました。 <p>【地域の実情に合った的確な福祉施策を推進する】</p> <ul style="list-style-type: none"> つながりを生み出す地域づくりの推進のために策定した第4期地域福祉計画について進行管理を行う方向性を決めました。 大和斎場で4,467件の火葬を適切に実施しました（大和市の火葬件数1,757件）。 <p>【戦争被害者や災害の被災者などへの福祉を増進する】</p> <ul style="list-style-type: none"> 戦没者遺族や被爆者に、補助金の交付などの支援を行うとともに、戦没者遺族へ対し弔慰金を支給しました。 大和市戦没者追悼式を開催し、122人の参加がありました。
---------------	--

構成事業に対する考え方（事業の量及び実施手法）	<ul style="list-style-type: none"> 地域での交流やつながりをさらに深めていくために、大和市社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、福祉推進委員会などの活動を引き続き支援していく必要があります。 複雑化、多様化する地域社会に関するニーズや課題に対応するとともに、共助による地域福祉を実践するために、第4期地域福祉計画に基づく取り組みが着実に展開されているか地域福祉計画検討委員会を設置し、検証を行います。 戦争被害者の福祉の増進と市民の平和に対する祈念を深めるため、各団体への支援や戦没者追悼式を引き続き実施します。 超高齢社会の到来による火葬需要の増加に適切に対応するため、斎場整備を含めた今後の対応策について組織市（大和市、海老名市、座間市及び綾瀬市）で検討を進める必要があります。
-------------------------	---

今後の展開方針	注）例年どおりの事業展開を予定している事務事業については、特段の記載をしていません。	
新規事業の立案		（該当する事務事業）
既存事業の拡充	火葬需要の増加に適切に対応できるよう、組織市において対応策を検討するため、協議の回数が増加します。	（該当する事務事業） 広域大和斎場組合負担事務
事業の廃止・縮減		（該当する事務事業）
事業の効率化		（該当する事務事業）
その他見直し		（該当する事務事業）